

# 白黒の花嫁







# 白黒の花嫁

太宰 × 芥川 ♀  
R 1 8   a n t h o l o g y

※本作品は男性キャラクターの女性化要素を含みます

太宰さん、芥川です

あ、

入り給え

太宰さんと僕が  
こういう関係になったのは  
1ヶ月前

キーン

…失礼、します

僕が太宰さんに

ずっと抱いていた気持ち  
を告白してからである

……太宰さん

好き、です…

太宰さん、のことが…

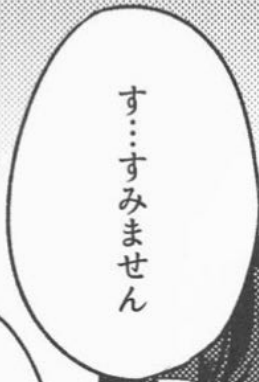




何でも…  
ありません

失礼しました…

あの…



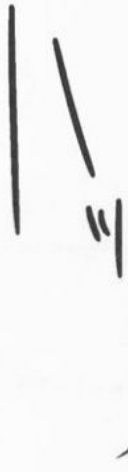
す…すみません



…君は…



失礼しました…



私の恋人に  
なりたいたい、

ということかい？



うーん  
でもねえ…



だ、太宰さん

僕は…！



君はそんなに

私のタイプでは  
ないのだよ

君も知っていると  
思うけれど…

え…

君は私のタイプとは  
全く違う

むしろ逆

私のタイプの  
女性はね、

ぐい…

背は  
このくらいで…

笑顔が可愛くて、

あと…髪は茶色で、  
着物がよく似合って…

胸も、もう少し  
大きい方が善い



女性といえ  
ばこうして抱  
いた時に、

柔らかくて愛  
おしい必要  
があると思  
うけれど…



それに君は  
痩せてるから

抱き心地が全  
然善くないの  
だよ



君はただ痩  
せてるだけ  
じゃないか

ぽろ

ぽろ



どおー

大きくする方法なら  
知っているが



試してみるかい？

うん...

…太宰さん？

…うーん

もい

もい

本当…  
ですか？

そうだね

前よりは  
大きくなったのかも

私は  
嘘は云わないよ



あともう少し  
やらせてもらおうね



あ…っ  
う…



はい…

そうかい  
なら善かった  
食事は大事だよ



芥川君  
食事はちゃんと  
しているのかい？

っ…



う…ん  
あ

ゼッ



…っ

もみ

ん…

もみ  
もみ



じゃないと  
これも意味ないからね

ハッ

…はい



ひん



…芥川君は私に  
こういう事を  
されるの、

好きかい？



気になっただけさ

いや

や…僕は





僕は…  
貴方に出会った  
瞬間から

貴方のものですから

僕は…



これで…いつか

貴方の…

恋人になれる  
のでしょうか…？





だ、  
太宰さん

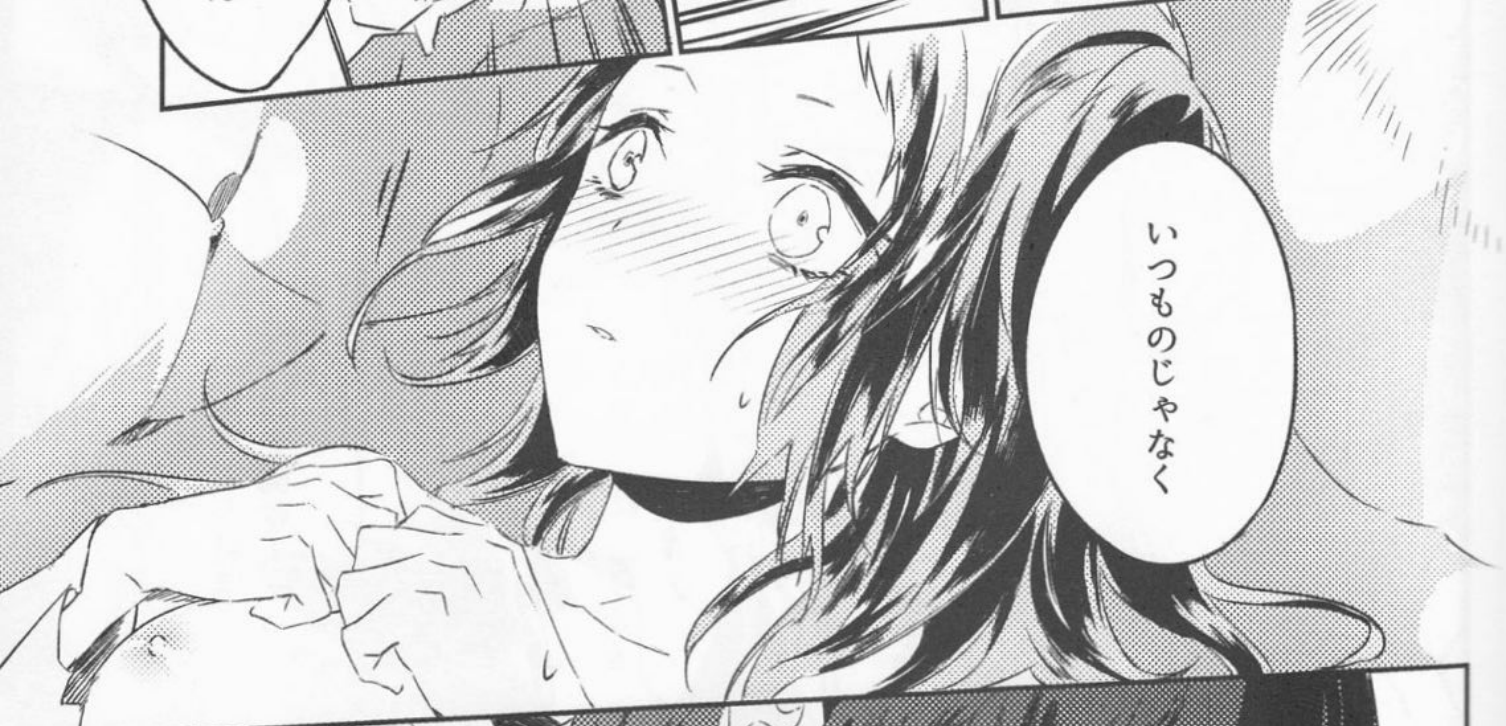
!?

あ、いや…  
何でもありません

今日は…  
少し違う事を  
してみよう

今日は…

ギョッ



いつものじゃなく



少しエツちな  
恋人ごっこ

善いね?



すん

…違うよ、芥川君



…う

びん!



っ…

ハラ

今は恋人同士だから

キスする時は、口を開けて



…よし



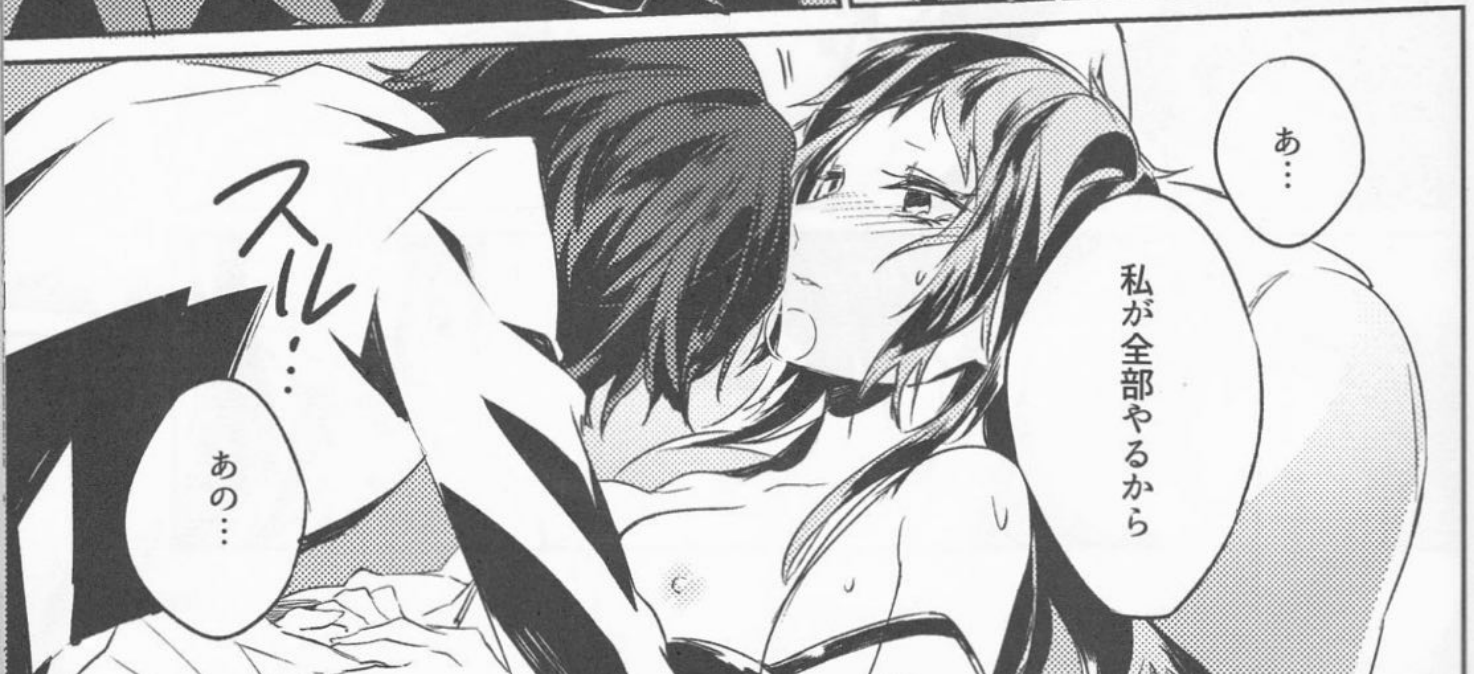
もじ…

目を閉じるのだ



いい子だね

ニコ





太宰さんと  
こうしている  
こと

夢みたい、  
嬉しい

ちゅっ...  
本当の  
恋人みたいに



あの...  
ごめんなさい

思わず  
手を...

あ...!





.....!

触っていて  
善いよ



私も

もつと触って  
いいかい?



えっ

あ  
クッ

じゃあ、全部  
脱がすから

君も



.....!



脱がして



はあっ...

ひ...う、

ん...

は...は...

は...は...





…初めてだし  
仕方ないね

痛いかい？



太宰さん…  
いっ

痛っ…

は…



ゆっくり

息を吸って

ちゅる…



は…

おびん…





暖かくて  
気持ち悪い

君はどうだい？

アッ  
ハッ



ああ、  
でもやはり

痩せすぎると  
身体に善くないよ

胸はもつと  
大きい方が  
気持ち悪いかな

ほら

手首まで  
こんなじゃないか

ハッ

...



ごめんなさい...

...

びん

ハッ

なんで  
謝るんだい？

私は

君が愛らしいと  
云っているのだよ

この黒い眼も髪も  
白い肌も

何もかも  
愛らしい

お姫様みたいだ

恋人ごっこは  
辞めて

明日からは  
恋人になって  
くれるかい？

花嫁

の

白黒

女の子のやつがれちゃんだよ！  
by リウム



あの…ある人から  
こういうものをつけるって  
いわれたのですが…



誰から  
そんなこと  
いわれたの？

おまえにはたぶん  
それは必要ないよ  
胸もないくせに…

はあー

すみません…

とりあえず  
おしえてあげるから、  
ぬいでみたら？

は、はい！





胸があると  
思っていなかった

ええええええええつー  
ちゃんとおあるじゃん!!!



太幸さん?

いつも「あれ」  
だから  
わから  
なかった...



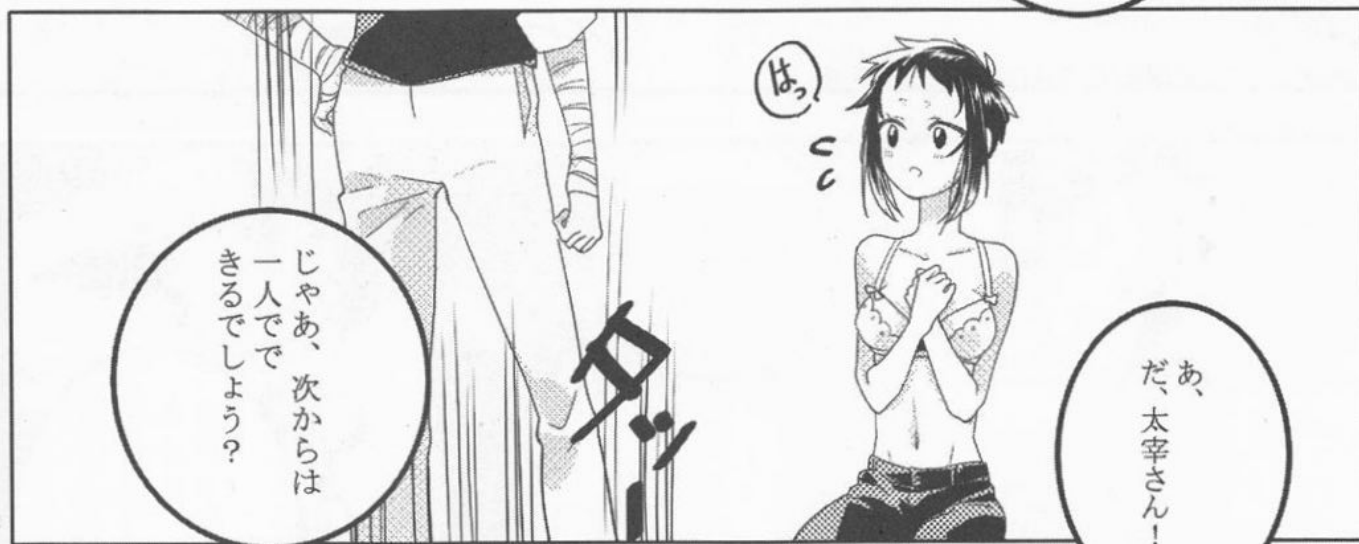
す、すみません...  
知らなかったもので...

...ったく、  
なんで今まで  
してなかったの?



あ、はい！

こうやって後ろの  
ホックをつけて  
着るんだよ、  
きつくない？



じゃあ、次からは  
一人で  
きるでしょう？

はっ  
こ

あ、  
だ、太宰さん！



……  
なんだってっ



ん  
ぎん  
ど  
き

さ、触つて  
見ます？





旅行  
おめでとうございます!  
どうも!



この一生を

君に捧げると誓う



芥川君が



女の子になっていた

用があって  
久しぶりに  
訪ねてみれば…

何？

そっちに  
目覚めたの？

ち…  
違います!!



)))

先日の戦闘の際に  
異能を大量に消耗  
したらしく

目覚めたら  
この状態で  
異能も全く  
使えぬのです



へー…  
どうして

私がマフィアに  
いる時に  
ならなかったの？

笑い事では  
な…

もっと  
傷つくこと  
はなしたの？





このような醜態  
貴方に見られたくは  
無かった

どうかこのまま  
すべて忘れて  
お帰り願…

折角の再会だ  
少し

芥川君一人で  
どうにか出来るか  
思っているの？

それは――

私なら 即ぐ  
治せるかも  
しれないけど？

君の心を  
試そう

ほんとう  
真実…  
ですか？

嗚呼  
私は本当に  
つくづく

下衆な  
男だ

唯、真正面から  
一言  
抱きたいと

だ…  
太宰さん！

もち

ふ、

もち

言って  
しまえたら  
いいのに

むっ  
無効化とは  
よもや

こうして  
触る以外に  
何があるの？

女の身体は  
得意だから  
任せなさい

あんな  
じつぱり  
なまめ

くにゅっ♡

ヒアっ！

おや？

どうしたの？  
まるで  
女性みたいな  
声だよ？

…その様な  
ことは

…そ

すっ  
すっ

♡の♡  
♡の♡  
♡の♡



ちろろ  
ちろろ  
おかしいね  
こんな  
触れているのに

全く治る  
様子が無い

ちゅーっ  
ちゅーっ  
ちゅーっ



こら  
声を抑えては  
いけないよ

もっと深い処に  
触れて  
あげるから



ん...  
ん  
ん







…なんてね



次を  
試してみよう

じっとして  
いたまえ

え…  
太宰さ

あ







芥川君  
私はね

フッ  
フッ  
フッ  
フッ

君を悦く  
させるために  
やっているのでは  
ないんだよ?

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

しゅ

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

異能を無効化  
しているんだ

ん  
う

わかって  
いるよね?

は  
あ

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ぬ

ん  
ん  
ん

でも本当に  
おかしいな

ここまで  
深部に触れて  
いるのに

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

君の身体は  
雌のままだ



ぬほっ

ねえ見てよ  
これ

芥川君、君の  
愛液だよ



私は君の  
異能を無効化  
したいだけなのに

君は

ああ本当に

いい  
顔をする

私に何を  
期待しているの？

煽られる  
加虐心

それと

庇護欲

芥川君

あと  
一つだけ

直接的な  
粘膜接触という  
方法がある

でもね、  
私は君なんか  
抱きたくない

君もこの先は  
怖いだろう  
何せ今君は  
非力な女性だ

嘘だよ

本当は

私だって  
我慢ならぬ

でも





このまま  
放っておいても  
戻れるかも  
しれない

君は  
如何したい？

芥川君

君を

私の意志で  
傷付けるのも

もう、

終わらせたい

……

君が

意志を  
持てる様  
になったのか


教えて  
くれないか

……  
……  
僕は……

僕は


一刻も早く  
元……  
男に戻りた

戦いの中  
貴方を  
守りたい



剣 貴方を守る

其れが  
存在意義



どうか  
続きを

御願  
い  
致します



！



お尻向けて

そう  
もつと

脚開いて

カキ  
カキ

カキ



カキ  
カキ

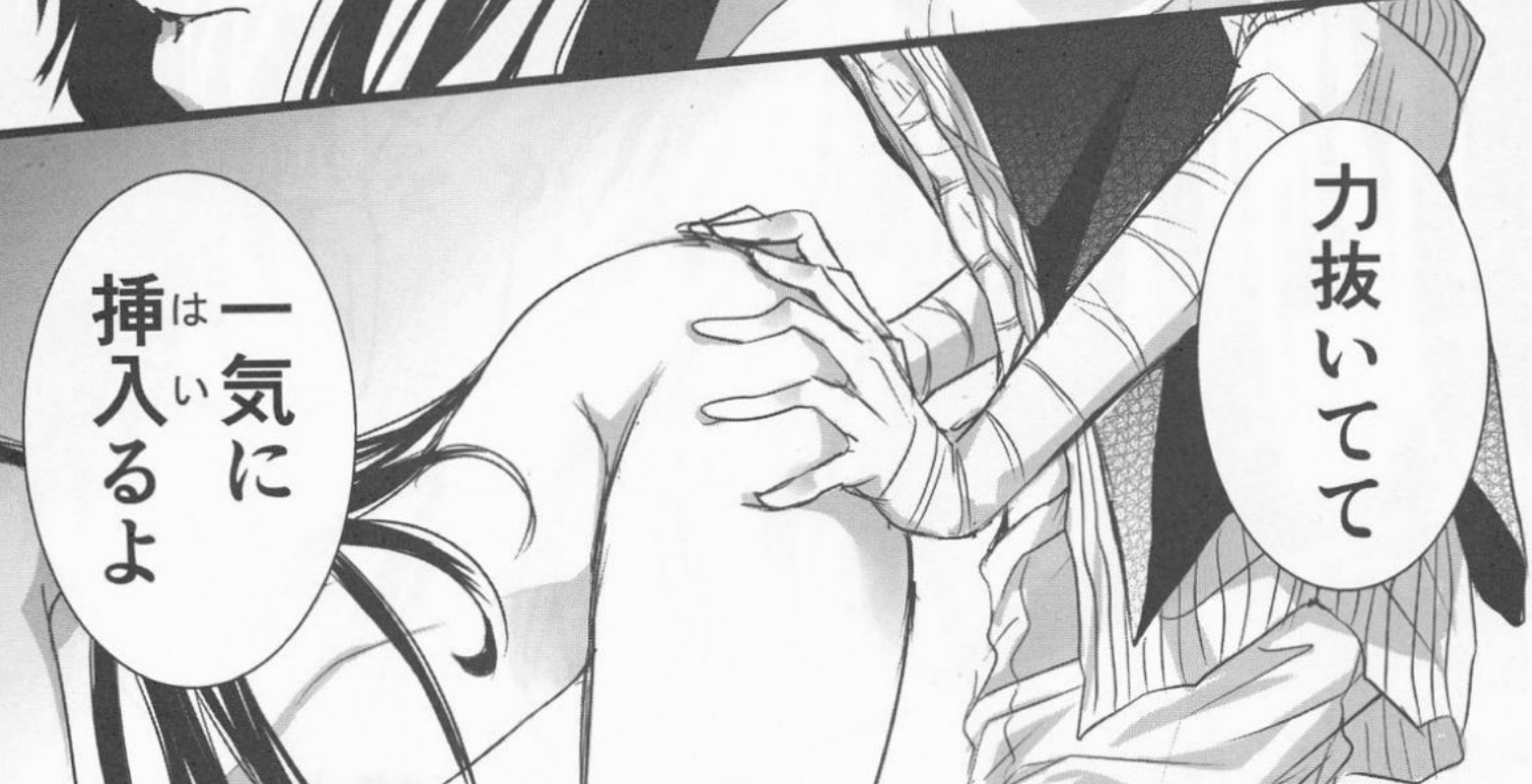


カキ

カキ

力抜いてて

一気に  
はい挿入るよ







君はこうやって  
いつまでも

私に  
守られていれば  
いいのだよ

——  
ツ、

芥川君



だ…太宰さん

太宰さん

だざいさん

だざいさん

太宰さん

だざいさん

あのさあ

と

す

そんなに  
呼ばなくても

ここに  
居るよ

ほ

し





判っている

——一緒に  
イこう

芥川君

アッ

太宰さん

生かされて  
いたのは

太宰さん……

ずっと

私の方だった

う

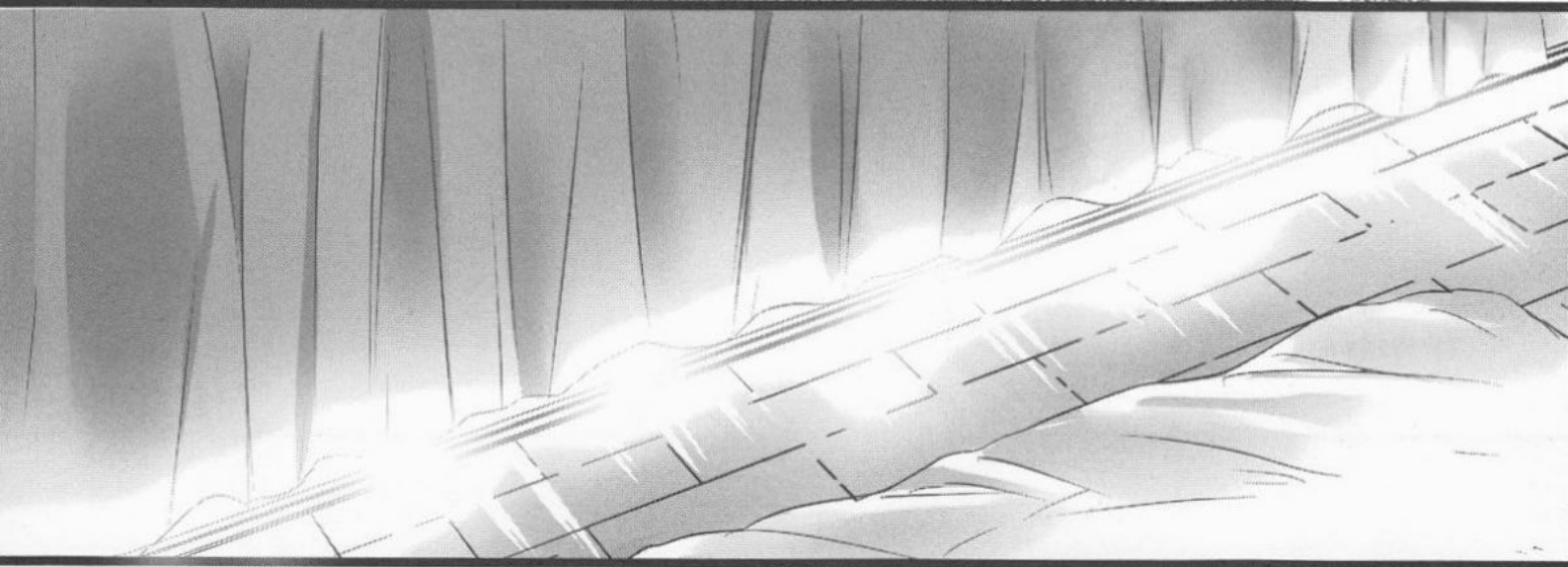
んっ

太宰さん  
あの、

……未だ  
治りませぬ

もう一度

お願い致します…



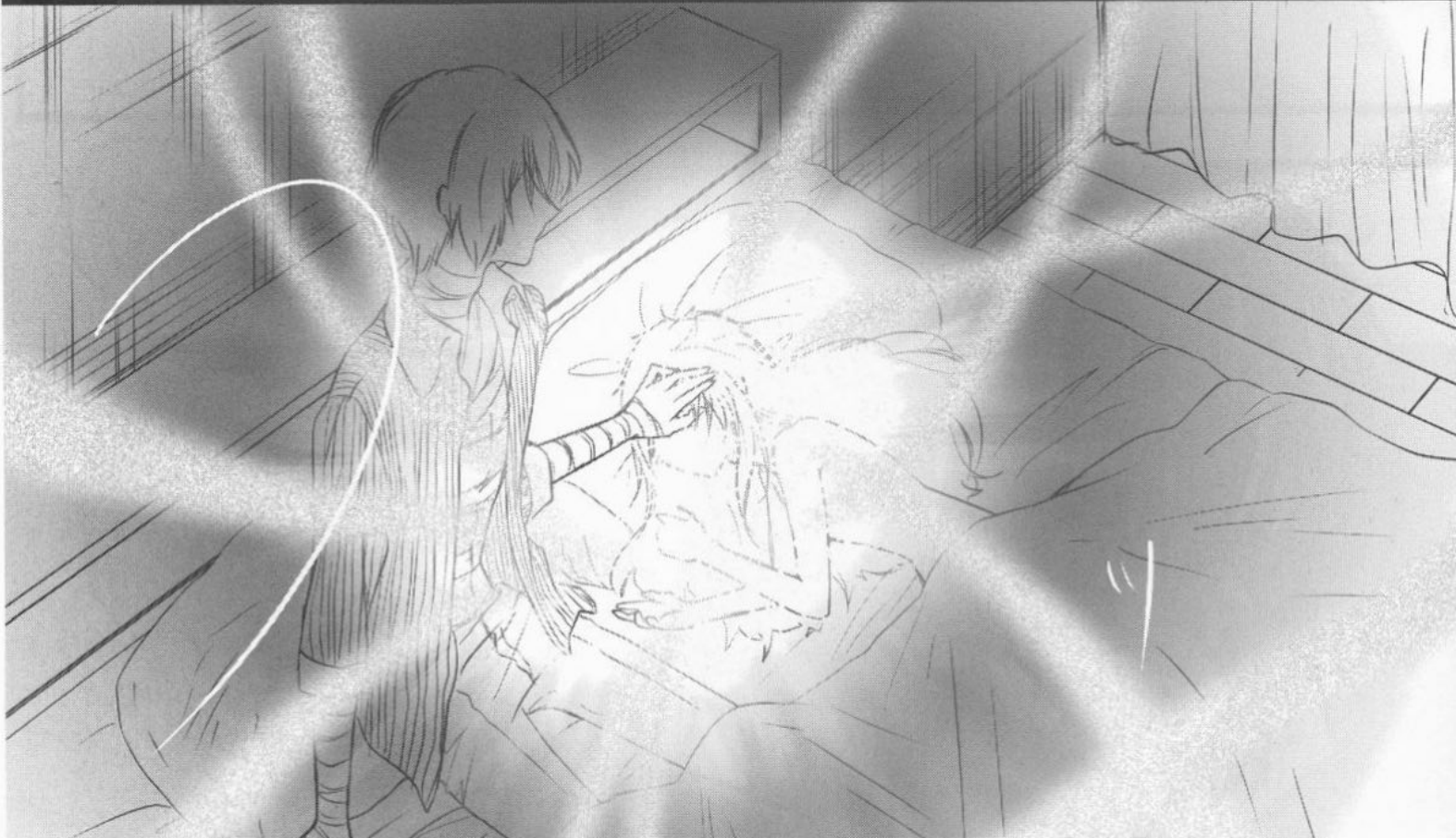
流石に…  
やり過ぎた…


4ッン  
4ッン

もう悔しかった  
キム



あ





な：大  
つ大人  
たねに



芥川君



—あの目から  
ずっと



私は君だけのものだ



この一生を  
君に捧げると誓う

さくらうた

# 白黒の花嫁

B U N G O   S T R A Y   D O G S

太宰 × 芥川 ♀

u n o f f i c i a l   f a n   a n t h o l o g y

周回軌道上  
さくらうた

m o m o 。  
モギ

sakura4uta@gmail.com

mogibox@gmail.com

pixiv:12706898  
twitter:@sakurauta2d

pixiv:2849861  
twitter:@monoxi

印刷 サンライズパブリケーション株式会社 様

2016.11.27

WEBサイトへのアップロード、無断転載、複製  
オークションでの転売を堅く禁じます。



さくらうた

モギ

-----  
ituki

うつ海

香那

斗和

リウム